令和３年３月１１日
国立大学法人豊橋技術科学大学
一般社団法人日本自動車部品工業会

# 豊橋技術科学大学と日本自動車部品工業会との教育研究の連携について

豊橋技術科学大学（学長：寺嶋一彦）と日本自動車部品工業会（総合技術委員会委員長：豊田周平）は,自動車社会の大変革期(電動化,自動運転,情報化など)の中で,日本の基幹産業である自動車業界が今後も日本経済をけん引するために,日本自動車部品工業会会員企業の第一線の技術者を講師として派遣し,将来の自動車業界で活躍できる人材の育成，また大学による企業における技術者の養成などを目的とし,教育講座の設置,工場・研究所等の見学会の実施及び両者のニーズに基づく教育・研究機会を設けて大学と企業間の教育・研究の連携を進めていきます。

豊橋技術科学大学と日本自動車部品工業会との連携の推進に関する協定調印式,および記者会見を以下のとおり行います。

## 「豊橋技術科学大学と日本自動車部品工業会との連携の推進に関する協定　調印式および記者会見」

日　時　：　令和３年３月１１日（木）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
場　所　：　豊橋技術科学大学事務局３Ｆ大会議室
出席者　：　豊橋技術科学大学　学長　寺嶋　一彦
　　日本自動車部品工業会　総合技術委員会委員長　豊田　周平

国立大学法人
豊橋技術科学大学

JAPIA
Japan Auto Parts Industries Association

# 国立大学法人豊橋技術科学大学と一般社団法人日本自動車部品工業会との連携の推進に関する協定　調印式　式次第

２０２１年３月１１日（木）於：豊橋技術科学大学

１．開会
２．協定書　調印／写真撮影
３．ご挨拶（豊橋技術科学大学／一般社団法人日本自動車部品工業会）
４．連携協定趣旨等ご説明
５．質疑応答
６．閉会／記念撮影

| 豊橋技術科学大学 | | 一般社団法人日本自動車部品工業会 | |
|---|---|---|---|
| 学長 | 寺嶋一彦 | 総合技術委員会委員長 | 豊田　周平 |
| 副学長 | 田中三郎 | 副会長・専務理事 | 大下　政司 |
| 副学長 | 足立忠晴 | 技術顧問 | 古野　志健男 |



JAPIA
Japan Auto Parts Industries Association

## 一般社団法人
# 日本自動車部品工業会

一般社団法人日本自動車部品工業会（**部工会**）は、**1969年**（昭和44年）８月に前身の自動車部品工業会をより**公益性の高い社団法人**として改組し**発足**した業界団体です。

今や**自動車部品出荷額**は**約35兆円**になり、自動車を安全・快適に走行させるために、一つ一つの**高品質な部品**が大きく寄与しております。

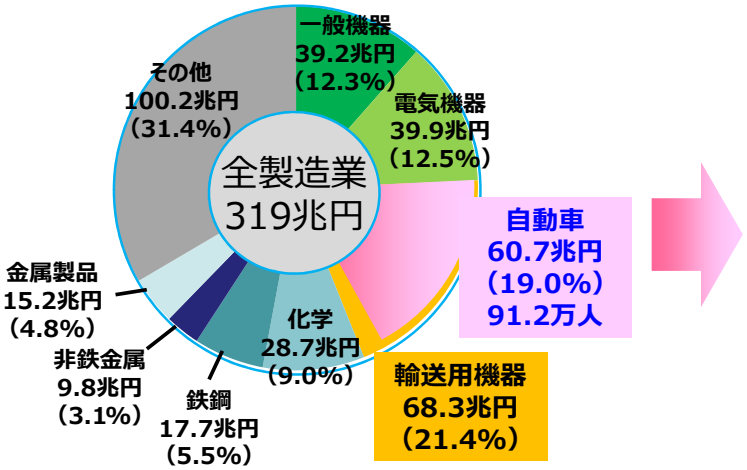
自動車部品産業を取りまく環境は一段と厳しく、**構造変化**の対応、**環境問題**への対応、**国際協調の促進**など多くの課題を抱えております。

部工会では会員会社と共に総力をあげてこれらの問題に取り組んでおり、自動車産業を通じて**「くるま社会」の健全な発展**を図ると共に、わが国**経済・社会の発展に貢献**すべく、積極的な事業活動を展開しています。

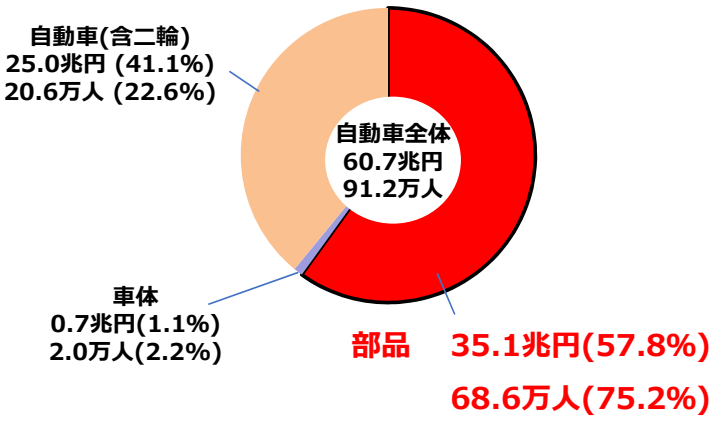
# 自動車部品産業の位置付け

□ 自動車産業は、出荷額で製造業全体の 19.0% を占めている。
□ 部品産業は、自動車全体の出荷額で 57.8%、従業員数で 75.2% を占めている。

## 2017年の主要製造業の製造品出荷額等




## 自動車産業の出荷額・従業員数




(注) 自動車の主要な構成部品であるが、「ばね製造業」、「ﾀｲﾔ・ﾁｭｰﾌﾞ製造業」、「自動車用ｶﾞﾗｽ製造業」、「ﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ、ねじ等製造業」、「蓄電池製造業」、「内燃機関電装品製造業」・・等が上記統計には含まれていない

(出所：経済産業省「平成30年工業統計」)



# 日本自動車部品工業会　概要

| | |
|---|---|
| 名称 | 一般社団法人　日本自動車部品工業会（略称：**部工会**）<br>JAPAN AUTO PARTS INDUSTRIES ASSOCIATION (**JAPIA**) |
| 所在地 | 東京都港区高輪1-16-15 |
| 沿革 | 1938年（昭和13年）　7月 1日　全国自動車部品工業組合連合会<br>1948年（昭和23年）　5月 1日　自動車部品工業会<br>1969年（昭和44年）　8月23日 社団法人 日本自動車部品工業会<br>2011年（平成23年）12月 1日　一般社団法人　日本自動車部品工業会 |
| 会長 | 尾堂　真一　　日本特殊陶業（株）　取締役会長 |
| 会員企業数<br>（2021年1月現在） | **424社**（うち大企業209社、中小企業215社）<br>※中小企業：資本金3億円以下、または従業員300人以下<br>正会員：自動車部品メーカー　371社<br>準会員：自動車部品販売者等　53社 |
| 委員会組織 | 総会、理事会、政策委員会、総務委員会、**総合技術委員会（豊田周平委員長）**<br>国際委員会、中小企業施策委員会など |
| 事務局組織 | **大下政司 専務理事**　以下31名 |

# 部工会の事業紹介

最近の取り組み

- ◆ **自動車業界としての新型コロナウイルス対策支援（自動車工業４団体）**
- ◆ **DX関連の取り組み**
- ◆ **自動車業界共通のサイバーセキュリティガイドライン発行**
- ◆ **モビリティ将来技術研究会発足**

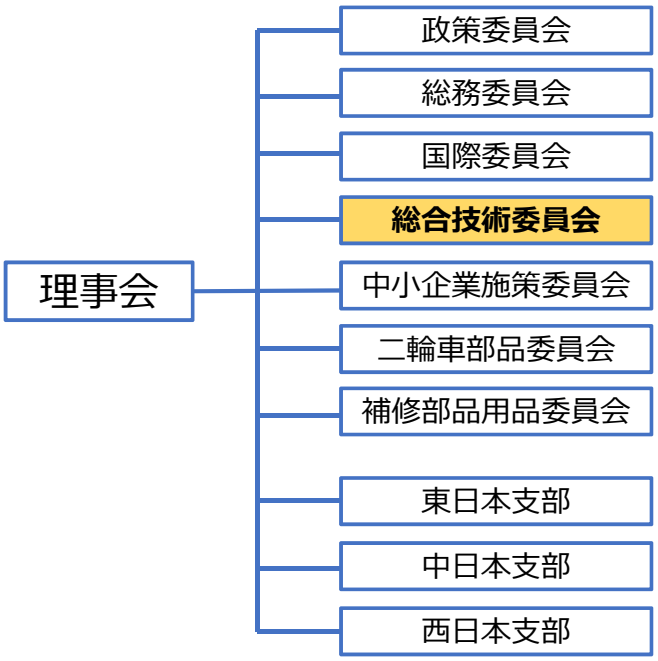
従来からの取り組み

- ◆ **取引適正化対応、CSR/BCP･リスク対応、中小企業支援、海外事業支援**
- ◆ **知的財産権保護活動、国際交流の推進**
- ◆ **環境活動、基準･認証制度に関する活動、IT技術に関する活動　等**
- ◆ **自動車部品産業の認知度向上**
  **学生フォーミュラ日本大会への参加、教員見学会の実施　等**

上記以外にも様々な事業を展開しております。https://www.japia.or.jp で紹介していますのでぜひご覧ください。



# 部工会の委員会組織




**総合技術委員会**

**委員長：　豊田周平**
**技術顧問：古野志健男**

**CASE/MaaSの潮流と、カーボンニュートラルの実現に向けて、世界の自動車産業は大変革の渦中にあり、新しい技術課題への対応に取り組む。**

令和２年度
- ◆業界共通のサイバーセキュリティガイドライン発行
- ◆モビリティ将来技術研究会

令和３年度
- ◆**産学教育連携事業として講座の開設**
- ◆DX関連の新規活動
- ◆カーボンニュートラル関連の新規活動

# 包括的な教育連携協力概要

CASE/MaaSの潮流と、カーボンニュートラルの実現に向けて、世界の自動車産業は大変革の渦中にある。
**その主役である部品業界は、自らの変革と共に、将来の人材育成も急務である。**

**部工会は、包括的な教育研究連携協力を豊橋技術科学大学と締結し、部工会と大学との間で**
**より多くの教育機会をもつことで、将来の自動車産業を支える人材育成の一助としたい。**

**主な教育連携協力**

**１）教育講座の設置**
**２）工場・研究所などの見学会の実施**
**３）両者のニーズに基づく教育研究機会の設定**

**今年度の取り組み**

**機械工学大学院特別講義Ⅰ、Ⅱ（足立教授）にて、会員の第一線の技術者を**
**非常勤講師として派遣し、自動車の大変革を支える先進的な技術の講義を実施する。**



国立大学法人
豊橋技術科学大学

# 日本自動車部品工業会 との包括教育研究連携協力

**教育講座の設置**

- **部工会会員企業の技術者による講義**
  最先端の自動車関連技術の教育
  学生のキャリア支援教育など
- **大学教員による企業技術者の教育**
  基礎工学，先端技術科学の講義
- **部工会と大学共同による実践的な教育**
  実務訓練(インターンシップ)

**見学会の実施**

- **企業での研究・開発現場の体験**
  研究・開発の現場

**教育研究機会の設定**

- **科学技術に関する情報交換**
- **共同研究による先端技術開発**
  科学技術・学術研究への貢献

国立大学法人
豊橋技術科学大学

JAPIA
Japan Auto Parts Industries Association

# 日本自動車部品工業会 との包括教育研究連携協力

## 2021年度の取り組み

**機械工学大学院特別講義Ⅰ** ： 機械工学専攻 博士前期課程学生対象

部工会会員企業の開発技術者により，最先端技術を講義するとともに，
企業における研究開発現場を紹介し，キャリア支援教育をも行う．

エンジン，電動化，将来モビリティ技術，ブレーキ，軽量化，材料技術など企業における
先端技術を紹介するとともに自動車産業の環境変化と将来の自動車社会について講義する．

| | |
|---|---|
| 第1回 4月28日 | 自動車産業を取り巻く環境変化と将来モビリティ社会 |
| 第2回 5月12日 | クリーンかつ高効率なエンジンを実現するための基礎技術について |
| 第3回 5月19日 | ハイブリッド自動車向け電気式４ＷＤ（四輪駆動）ユニットの開発 |
| 第4回 5月26日 | 自動車用ブレーキ基礎講座；自動車用ブレーキの未来 |
| 第5回 6月 2日 | 小型軽量化技術 |
| 第6回 6月 9日 | シール技術＆ゴム加工技術 |
| 第7回 6月16日 | モビリティ社会におけるセラミックス材料技術の役割 |



国立大学法人
豊橋技術科学大学

JAPIA
Japan Auto Parts Industries Association

日本自動車部品工業会 との包括教育研究連携協力

2021年度の取り組み

**機械工学大学院特別講義Ⅱ** ： 機械工学専攻 博士前期課程学生対象

部工会会員企業の開発技術者により，最先端技術を講義するとともに，
企業における研究開発現場を紹介し，キャリア支援教育をも行う．

コネクティッド、情報化、自動走行・安全システムなど，企業における先端技術を
紹介するとともに自動車産業の環境変化と将来の自動車社会について講義する．

| | |
|---|---|
| 第1回 6月21日 | 自動車産業を取り巻く環境変化と将来モビリティ社会 |
| 第2回 6月28日 | 新しいモビリティ社会へのアプローチ |
| 第3回 7月 5日 | 次世代モビリティにおける車室内空間 |
| 第4回 7月12日 | 温故知新－現代に必要な計算のカラクリと落とし穴ー |
| 第5回 7月19日 | 電力・信号伝達技術 |
| 第6回 7月26日 | 衝突安全法規・アセスメントと乗員保護技術 |
| 第7回 8月 2日 | モビリティの未来を照らす最新照明技術 |

国立大学法人
豊橋技術科学大学

JAPIA
Japan Auto Parts Industries Association

# 国立大学法人豊橋技術科学大学と一般社団法人日本自動車部品工業会との連携の推進に関する協定　調印式　式次第

２０２１年３月１１日（木）於：豊橋技術科学大学

１．開会
２．協定書　調印／写真撮影
３．ご挨拶（豊橋技術科学大学／一般社団法人日本自動車部品工業会）
４．連携協定趣旨等ご説明
５．質疑応答
６．閉会／記念撮影

豊橋技術科学大学

学長　寺嶋一彦
副学長　田中三郎
副学長　足立忠晴

一般社団法人日本自動車部品工業会

総合技術委員会委員長　豊田　周平
副会長・専務理事　大下　政司
技術顧問　古野　志健男